

世界はひとつ

2017年11月 No. 140

(公財) 岐阜県国際交流センター(略称GIC) 発行
国際交流・多文化共生情報誌

日本語版



©岐阜県 清流の国ぎふメディア#0195

地域の国際化推進のための環境づくり

外国文化を紹介する多文化共生サロン

当センターでは、本誌「世界はひとつ」の発行や国際交流イベント「ハローギフ・ハローワールド」の開催、そして国際交流員による語学講座や様々な国の文化を紹介する多文化共生サロンなど、各種事業を通して、日本人と外国人が同じ岐阜県民としてお互いの考え方や文化的背景を理解し、尊重し合うきっかけとなる機会や情報を提供し、地域の国際化を推進するための環境づくりに取り組んでいます。

多くの子ども達が夏休みを迎えたばかりの7月25日(火)に、ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)で「夏休みを国際的に楽しもう!」と題して多文化共生サロンを開催しました。

今回は、アメリカ、中国、ブラジルから来ている国際交流員達が、県内在住の小学校・中学校・高等学校から高学年のお子さんを主な対象として、楽しみながら異文化についての理解を深めていただけるようクイズやゲームを取り入れたプログラムを企画しました。

こうした内容は初めての試みでしたが、遊びを通して海外を身近に感じ、外国により関心を持っていただけたとともに、日本と外国の共通点・相違点を見つけたり、自分とは違う発想を持っている人がいることを知ったりして、多様なものの見方や考え方に触れていただけました。

多文化共生サロンは、子どもから大人まで幅広い世代の方が異文化体験できるイベントです。これからも様々なテーマで実施しますので、皆さんお気軽にご参加ください。(9月に実施した同サロンについては4ページをご覧ください。)



アメリカ・中国・ブラジルどこまで知ってる?

それぞれの国の面積や人口、世界遺産など国の概要をはじめとして、動植物や季節の特徴など自然環境、歴史、生活習慣や学校生活について日本との違いや関わりを交えながらクイズ形式で紹介しました。



こんな遊びもしました

マンガの台詞づくりやジャンケンなど手を使ったゲームにも挑戦しました。



CONTENTS 目次

新しい国際交流員のご紹介 P2

・イギリス出身 キャサリン・オーア

センターの事業報告 P3、4

・外国人保護者向けライフプラン講座

・〈まもなく開催!〉医療通訳ボランティア研修2017

・多文化共生サロン(ブラジル)

国際交流員の活動報告「出張編」 P5

・郡上市へ行ってきました!

外国人住民向けの生活情報 P6

・多言語Facebookの開設、
保育所サポートブック作成など

岐阜県で活躍する団体の紹介 P7

・岐阜日中協会

JICA岐阜デスクからのお知らせ

インフォメーション P8

・センターからのお知らせなど

新しい国際交流員のご紹介



皆さん、はじめまして！イギリスの北アイルランドから来ましたキャサリン・オーアです。8月に国際交流センターの国際交流員として着任しました。両親はイギリス人ですが、仕事の関係で長く日本に住んでいました。私は北海道で生まれ、中学時代まで日本で育ち、地元の学校に通ってました。高校生になり帰国し、イギリスの文化を経験する6年間を過ごしました。今年の6月に大学を卒業し、8月から6年ぶりの日本での生活が始まりました。日本は長いですが、岐阜は初めてで、社会人としての生活も初めてになります。イギリスは日本と同じ島国かつ立憲君主制で共通点が多いといわれていますが、文化の面では異なるところもたくさんあります。国際交流員としての様々な活動を通して、岐阜の皆さんにイギリスの文化や歴史を紹介し、岐阜についても色々勉強していきたいと思っています。これから一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

イギリスについて



公式名：グレートブリテン及び北アイルランド連合王国

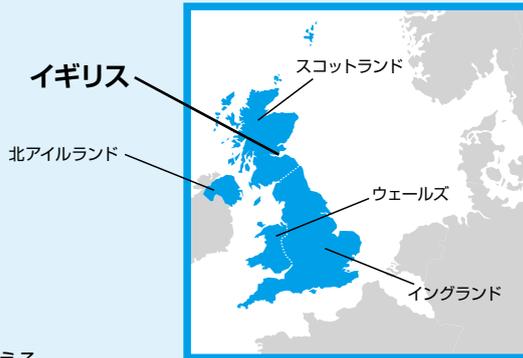
(イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの4つの国で構成されている)

公用語：英語 **首都**：ロンドン **人口**：約6551万人 (日本の約半分) **面積**：約24万4820km²

通貨：スターリング・ポンド **GDP**：2,619兆ドル

★ イギリスの豆知識 ★

- イギリスでは、300以上の言語が使われている
- イギリス人全体で、紅茶を毎日合計1億6500万杯飲む
- 夏は夜10時以降まで明るく、冬は朝9時頃まで暗い
- 天候が不安定なため、雨が降ってもほとんどの人は傘をささない
- 飛行時間2分の世界最短の便がある
- ロンドン地下鉄は1863年にでき、世界初の都内地下鉄道であった
- ロンドンはインドのムンバイよりインド料理店が多い
- イギリス人は、100歳の誕生日に女王様からお祝いのお手紙がもらえる



海に囲まれ、緑のあふれる「エメラルドの島」北アイルランド



「巨人の石道」(Giant's Causeway)

私は、岐阜に来る前、イギリス国内での人口がわずか3%の北アイルランドに住んでいました。北アイルランドはアイルランド島の北に位置していて、南と西にアイルランド共和国と国境を接していますが、1921年にアイルランドが南北に分割されたとき、イギリスにとどまりました。そのため、イギリスとアイルランドの伝統が混ざった独自の文化を持っています。私は、北アイルランドの首都ベルファストの近くの小さな村に住んでいました。隣の家が農家で、じゃがいもと麦を栽培、牛と羊を飼育しています。隣の子は農業が大好きで、中学生になった頃から大きなトラクターを運転しながら親を手伝っています。

北アイルランドは小さいため、「2人の北アイルランド人が会うと、共通の親戚や友達が見つかる」といわれています。私にも実際、東京で偶然北アイルランド人に出会って、共通の知り合いがいたことを発見した経験があります。北アイルランドは、きれいな海と農地に恵まれていて、ここ数年、観光地としても人気になってきました。日本からは遠いですが、機会があれば皆さんもぜひ、緑豊かな北アイルランドを訪ねてみてください。



じっか 実家からの眺め



北アイルランドの高校生活

可児市立今渡北小学校で、外国人の 保護者向けライフプラン講座を開催しました

前号でもご紹介したとおり、当センターでは、日本での定住を前提として、子どもの進学や将来に向けた生活設計等を支援するため、定住・永住傾向の高いフィリピン人及びブラジル人の保護者を主な対象として、日本の教育制度や教育費、生活に必要なお金や貯蓄について学んでいただくライフプラン講座を実施しています。7月に本年度初めての講座を外国人児童が多く在籍する可児市立今渡北小学校と連携して行いました。同校には169名（7/1時点）の外国人児童が在籍し、以前から保護者に対して学校生活に関わる情報や、進学に必要なお金などの情報を伝えるため年4回の国際懇談会を開催しており、今回は32名の保護者に参加いただきました。

ファイナンシャルプランナーの竹内 幹 氏を講師に迎え、現在の生活でのお金の使い方について振り返りながら、小・中学校と高校でかかるお金の違いや公立と私立の違い、受験料や入学費などこれから必要となるであろう教育費を中心としたお話を聞いていただきました。お金は必要となる前に先取り（貯蓄）すること、こつこつ貯めることが大切であるとの説明に、先取りは難しいとの声が多くあがりましたが、児童手当、定期預金、学資保険などにより貯蓄できる方法や奨学金制度、教育ローンなど、そのメリット・デメリットについても具体的に教えていただき、とても参考になったという声を多くいただきました。



講師の竹内 幹 氏。資料を示しながら、わかりやすくご説明いただきました。



外国人保護者の中には日本語に不慣れな方もいるため、タガログ語とポルトガル語の逐次通訳も行いました。



まもなく開催！

医療通訳のキホンが分かる！

医療通訳ボランティア研修2017

日本語の不自由な外国人住民の方が、安心して医療機関で診察を受けられるよう、医療通訳研修を行います。基礎的な内容となりますので、初心者の方、医療通訳に興味がある方も大歓迎です！



と き: 2017年11月18日（土）、19日（日） 10:00-17:00
と ころ: 11/18（土） 可児市文化創造センター-ala（可児市下恵土3433-139）
 11/19（日） 岐阜大学医学部（岐阜市柳戸1番1）

対象者: 岐阜県医療通訳ボランティア登録者、医療通訳ボランティアに興味がある方
 ※外国人で日本語で日常会話ができる方、日本人で対象言語で会話ができる方

対象言語: ポルトガル語・中国語・タガログ語

定員: 50名 **参加費:** 無料

研修内容: ※講義は日本語で行います。

- 18日 日本の医療制度、医療通訳者の心構え、基本的な医療知識・通訳技術
- 19日 医療実習用器具を使って実習、ロールプレイ

※全日程に参加した人に、受講証明書を渡します。

申込・問合せ: 岐阜県国際交流センター（TEL:058-214-7700）

研修受講者は、岐阜県医療通訳ボランティア登録試験を受けることができます。





外国の文化や習慣を紹介する多文化共生サロン

ブラジル流の「ヒップアップ」を通じて、ブラジル美学や美意識を体感していただきました!

当センターでは、多文化共生の推進には、幅広い世代の方々が異文化理解を深め、日本人と外国人の相互交流を図ることが不可欠であると考え、そのきっかけづくりとして外国の様々な文化を紹介する多文化共生サロンを開催しています。9月1日(金)に開催したブラジル文化を紹介する多文化共生サロンでは、シニア世代から若い方まで関心の高いフィットネスを中心に、ブラジル人にとっての『理想の体型』や『体型維持』に関する美学や美意識について紹介し、理想とする体づくりに必要なトレーニングを実際に体験していただきました。

★ブラジル人にとっての理想の体型とは?



ブラジル人の多くが注目し、魅力を感じる部分はお尻の大きさや形です。毎年、美しいお尻の形を競うブンブンコンテスト(bumbum)とは、ポルトガル語でお尻のことです。ヒップアップされた大きなお尻が理想とされています。ブラジルといえば、リオ・デ・ジャネイロのカーニバルが印象的ですが、その踊る姿にも共通しますね。

講師のヴァニア・ルシアナ氏
フィットネスインストラクターとして愛知、岐阜で活躍中!



まずはブラジル人の美学や美意識について、ブラジル出身のヴァニア先生と岩本国際交流員が紹介

★ブラジル人は隠す努力より見せる努力をする!

ブラジル人女性が美しいと考える体型は、メリハリがあることです。この意識はファッションにも繋がっています。控えめなのが良いとする多くの日本人は、隠したいところはできるだけ目立たぬよう、体型を隠す格好をしがちですが、ブラジル人女性は多少の贅肉があっても気にしない! 女性らしさやメリハリを強調した体のラインに沿った服装を好みます。また、ブラジル人女性は同性の知人や友人に出会うと、相手の体型をしっかりとチェックするそうです。そうした習慣もあって、理想とする体型を目指し、あるいは維持するための努力を惜しまないのかもしれないですね。

★ブラジル流「ヒップアップ」に必要なトレーニングを体験!

①まずはトレーニングには全身の筋力アップが必要です。スクワットやダンベル等を使った筋力アップトレーニングを行いました。



②トランポリンを使ったヒップアップダンスは心も体も踊る楽しさでした。片足でポーズをキープしたり、バランスをとるのは大変。トレーニングを続けて体幹の筋肉を鍛えることも重要です。



★ブラジル流「ヒップアップ」を学んで、心も体もブラジルらしさを体感できました!

あっという間の一時間半でしたが、今回はブラジル文化の紹介だけでなく、これまでの座学形式では難しかった参加者同士(外国人と日本人)の交流ができ、みんなが一体となって盛り上がったイベントになりました。楽しみながらブラジル人の価値観や音楽、言語に触れられた、とてもよかったという感想をたくさんいただきました。

参加して下さった23名の皆さん、お疲れさまでした!



国際交流員の活動報告 「出張編」

☆ 郡上市へ行ってきました! ☆

岐阜県では、人口減少社会においても地域が活力を保ち続けるため、「地域の将来を支える人を呼び込む」という視点から、移住定住対策を推進しています。今回、私たち交流員は、移住希望先として多くの方から選ばれ、先進的な取り組みを行っている郡上市へ行き、県内の大学生や、地域の方々、自治体職員等と意見交換し、より多くの方に岐阜に移住・定住してもらうための方策を検討しました。

① 「明宝レディース」と「ジビエ工房めいほう」を見学



郡上市の女性によるケチャップの会社です。岐阜県産のトマトを使用し、すべての加工過程を手作業で行っています。試食したところ、とてもおいしかったです!



たくさんの方々の協力を得て、設備が整ったジビエ工房めいほう。山の大切な命を安全・安心・おいしく提供しています。



② 栃尾里人塾 「古民家源右衛門」で移住体験の講演や意見交換会



若い世代の岐阜県への移住・定住の可能性を探るため、「田舎」に住み働くこと、その働き方について意見交換を行いました。

移住体験談では、移住当時の苦労や地域の方々の思いやりなど、現在に至るまでのお話を伺いました。



提案された意見の多くは、良い人間関係の構築や、地域とのつながりの重要性など、コミュニティの形成に関わるものでした。

☆ 他国の社会実態 ☆

中国では、都市と農村の所得格差が大きいので、数多くの農民が親や子供を田舎に残して相次いで都市に出稼ぎに出るようになりました。貧しい農村に残されるお年寄りは「空巢老人」といい、厳しい農業と孫の世話の2つの重荷を担っています。親と離れて暮らし、祖父母や親戚に育てられている子供たちのことは「留守児童」といい、親に会えるのは年に一度の春節ぐらいです。



ブラジルでは、かつて活発であった田舎から都市への移住が変わりつつあります。都市部は、急激な人口増加によりインフラ整備が追いついていないほか、近年では、就職率が低下し、経済面が厳しくなっているため、魅力的ではなくなっています。政府の農村改革などによって、貧困な人たちは都市から農村へ移住するようになりました。



イギリスの都市では、貧困な人々が多く住んでいる地区に富裕な人々が流入することによって、地域が高級化し、社会や住民の構成が変わっていく現象が起きています。国や市が計画的に地域再生を進める場合もあれば、家賃が安い田舎に中流階級が流入し、新規事業を立ち上げることもあります。再開の結果、地域経済が回復し、犯罪率も下がるなどの効果があるといわれていますが、税金や家賃が上がるにつれて、それまで居住していた住民が住居や家業を失ってしまい、地域のコミュニティが崩壊することが問題となっています。



フィリピンでは、他の国と同様に、若者だけでなく、ほとんどの人々が、都市は住みやすい場所であると思っています。今は都市には仕事がなく、住む場所もないため政府の対策として田舎に戻るよう支援をしています。新しい生活を始めるための金銭や住居を支援していますが、お金がなくなると再び都市へ戻り、再び支援を申請するということが何度も繰り返されています。



外国人住民向けの生活情報



当センターでは、センターのイベントや県内の行政情報、生活に役立つ各種ガイドブック等、県内在住の皆様にとって有益な情報を発信しています。特に県や市町村等から伝えたい、知ってほしいことや安心・安全に暮らすために必要な情報は、4言語（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語）でホームページに掲載したり、トリオフォン*を使った電話相談などによりお知らせしています。

このたび、新たな情報媒体としてFacebookを言語別に開設しました。また、小学校入学前のお子さんをもつ保護者の方などに読んでいただきたい保育所・保育事業利用のためのサポートブックを作成するなど、幅広い情報提供にも取り組んでいます。

*トリオフォンについては、8ページをご覧ください。

多言語Facebookはじめました!

既存の日本語版Facebookに加え新たに英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語版を開設しました。イベント情報など様々な情報をお届けします。

- 【日本語】岐阜県国際交流センター
- 【英語】Gifu International Center
- 【中国語】岐阜県国際交流中心
- 【タガログ語】Public Utility Organization Gifu
- 【ポルトガル語】Centro Internacional de Gifu



検索

たくさんの方に情報を伝えたいので、ぜひ、「いいね!」や「シェア」をお願いします!



「外国人の保護者向け～保育所・保育事業のご利用サポートブック」を作成しました!

保育所や保育事業のご利用に悩みを抱えている外国人保護者向けに、保育施設、事業概要、利用手続き、市町村の窓口などをわかりやすくまとめたサポートブックをホームページに公開しています。

WEBサイト <http://www.gic.or.jp/2017/08/post-72.html>

次のようなことでお困りの場合に、ダウンロードしてご利用ください。

- ・仕事があるので小学校入学前の子供を預けたいけど、どこで預かってもらえるのかわからない。
- ・手続きがよくわからない。
- ・どこに相談したらいいかわからない。
- ・日本語に自信がなくて、窓口で説明を受けてもよくわからない。



*具体的な手続きは、市町村や施設ごとに多少異なります。お住まいの市町村窓口に必ず相談・確認してください。

「岐阜県からのお知らせ」を4言語に翻訳しています!

毎月1回、県の広報紙「岐阜県からのお知らせ」を4言語（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語）に翻訳して県のホームページで公開しています。県内のイベント、講演会・セミナー等、様々な内容を発信しています。

岐阜県 広報誌

検索

または

WEBサイト: http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/koho-kocho/kohoshi/11103/index_2733.html

これからも、皆様が情報不足で困らないよう、様々な方法で情報提供を行ってまいりますので、『岐阜県国際交流センター』をぜひ活用してください!

Close up! 岐阜県で活躍する団体の紹介

岐阜日中協会

岐阜日中協会は、1997年に設立し、今年で20周年の節目を迎えましたが、これまで県民と県下在住の中国人の方々が一緒に岐阜県の名所を巡る「ふれあいバス旅行」、江西省の子供たちの絵画や書を紹介する「中国江西省の子供たちの作品展」等、様々な活動を地道に続けてきました。2014年と2016年にはそれぞれ訪中団を結成し、江西省で友好植樹活動を行ってきました。

参加者募集

11月26日に「岐阜日中協会設立20周年記念パーティ」、来年2月に恒例の「春節餃子パーティ」がありますので、参加を希望される方はお気軽にお問い合わせください。



2016年11月 第2回中国江西省植樹訪問団

岐阜日中協会からのメッセージ

私たちの活動はすべて会員の“手作り”です。その都度みんなで話し合いながら“できる範囲でできること”を、この20年間無理せずやってきました。これからも当協会では民間の懸け橋として、“手作り”の交流活動を進めていきます。中国に興味のある皆さんのご参加をいつでもお待ちしております。

申込み・問い合わせ
岐阜日中協会

TEL: 058-272-3172
FAX: 058-272-3172

JICA岐阜県デスクからのお知らせ

『なごや地球ひろば』がリニューアルオープン!!



こんにちは! JICA岐阜県デスクの世古英弘です!!

突然ですが・・・なな、なんと! JICA中部『なごや地球ひろば』が、2017年10月3日(火)より、リニューアルオープンいたしました! 新展示は「SDGs」をテーマに、ゲームや体験アイテムを通して世界の「いま」を体感できる施設に生まれ変わりました。バージョンアップした民族衣装試着コーナーもお見逃しなく。入場は無料です。どうぞお気軽に遊びに来てください!



お問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構
中部国際センター (JICA中部)
なごや地球ひろば
〒453-0872 名古屋市 中村区 平池町4-60-7
TEL: 052-533-0220 (代表)
FAX: 052-564-3751

詳しくは、HPを
ご確認ください! [なごや地球ひろば](#) [検索](#)



～JICAボランティアや開発教育・国際理解教育、その他国際協力に関して、お気軽にお問い合わせください～

JICA岐阜県デスク 岐阜県国際協力推進員 世古英弘

TEL: 058-263-8069 E-mail: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

Information

このコーナーでは、当センターからのお知らせや県内の国際交流・多文化共生団体が開催するイベント・講座などの情報を掲載しています。

外国人住民のための相談対応・電話による行政通訳サービス

当センターでは、外国人住民のための相談対応を多言語で行っています。また、県や市役所などの行政窓口や公的機関に問い合わせをしたい場合、電話での通訳サポート（トリオフォン）が利用できます。

※通訳料金は無料（但し、通話料は相談者負担）。

お困りの際は、センターまでお気軽にご連絡ください。



3人同時に通話ができます(トリオフォン)

- 英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
月曜日～金曜日 9:30～16:30
- 相談対応 TEL:058-214-7700
- トリオフォン TEL:058-263-8066



いちき皮膚科

・診療時間
月・火・木・金・土：9:00-12:00
月・火・木・金：15:30-18:30
・休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日
〒502-0913
岐阜市東島 3-9-13
☎ 058-231-1237



コンタクトのアイシティ eyecity

アイシティを初めてご利用の方で、アイシティらしくWEB登録で店頭価格(税抜)から**20～25%割引**
※期間によって割引率が異なります
※他の優待・割引等の併用不可

岐阜店(カラフルタウン岐阜1F)
Tel.058-388-8483
大垣店(JR大垣駅前)
Tel.0584-77-0555
各務原店(イオンモール各務原1F)
Tel.058-375-3120



他団体からのお知らせ

★第350回市民の劇場 第39回ぎふアジア映画祭



11月からは、台湾、インド、パレスチナ、パキスタンの映画を上映。お茶販売のほか、「この世界の片隅に」の上映とコトリンゴさんのライブも必見!

- と き / 10月14日(土)～12月2日(土)
- と ころ / 岐阜市文化センター、岐阜市民会館、シネックス(柳ヶ瀬)
*上映作品により、会場は異なります。
- 対 象 / 一般(未就学児不可)
- 参 加 費 / 1回券800円、3回券2,100円、10回券5,000円
コトリンゴLIVE専用チケット500円
- 問 合 せ 先 / 岐阜市文化センター(岐阜市金町5-7-2)
TEL:058-262-6200 E-mail: cvic@g-ncc.jp

★平成29年度国際交流のつどい(講演会及び交流会)

講師に陶芸家の七代加藤幸兵衛さんをお迎えし、「悠久のベルシヤと焼き物」と題してIranの特色ある文化をご紹介します。交流会は立食形式にて開催します。皆さまお気軽にご参加ください!

- と き / 11月25日(土) 講演会14:00～15:30 交流会16:00～17:30
- と ころ / 不二羽島文化センター 401大会議室
(羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地)
- 定 員 / 100名程度
- 参 加 費 / 講演会:無料(ただし入場整理券が必要)
交流会:会員1,000円
非会員:大人1,500円、中学生・高校生500円
- 問 合 せ 先 / 羽島市国際交流協会事務局(羽島市役所企画部市民協働課)
TEL:058-392-1111(内線2312)
E-mail: kyodo@city.hashima.lg.jp

★日仏交流口演会「ぎふ落語コスモス円徳亭」2017

落語の祖といわれる安楽庵策伝和尚ゆかりの岐阜市で、日本人の笑いの伝統芸術を二人のフランス人落語家が、日本語とフランス語で披露します。

- と き / 12月10日(日) 15:00～17:00(開場14:30)
- と ころ / 浄土真宗本願寺派「円徳寺」本堂(岐阜市神田町6-23)
- 参 加 費 / 1,500円(前売・会員料金1,000円)
- 問 合 せ 先 / 岐阜日仏協会 TEL/FAX:058-235-7253
E-mail: i-grec@mub.biglobe.ne.jp

★国際ソング岐阜クラブ「チャリティーの夕べ」

恒例の岐阜ソングクラブの「チャリティーの夕べ2017」加藤登紀子さんの格調高い歌声をお楽しみください。

- と き / 12月13日(水) 18:00～20:00(開場17:30)
- と ころ / 岐阜グランドホテル(岐阜市長良648)
- 定 員 / 350名
- 参 加 費 / 17,000円
- 問 合 せ 先 / 岐阜ソングクラブ TEL:090-7855-2004(事務局:安田多賀子)

発行・編集

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称GIC)
〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中目ビル2階
電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067
トリオフォン 058-263-8066(三者通話電話による行政通訳サービス)
E-mail gic@gic.or.jp URL http://www.gic.or.jp
開館案内 開館日～金曜日 9:30～18:00 休館日 土曜日、祝日、年末年始
対応可能言語 英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語



発行日

平成29年11月1日発行(年3回発行 7月、11月、2月)